



かまいし 市議会だより

12月定例会

・11月臨時会の概要…2

議決議案・議案賛否………3

一般質問（10人登壇）…4

議案審議………14

委員会等活動報告………14

議会の動き………15

新しい年に臨んで………16

12月定例会の概要

将来の釜石を見据えた議論を交わす

自然環境保護、子育て支援を注視

12月定例会は、12月6日から12月17日まで、12日間の会期で開催しました。

初日には、市長報告が行われ、14日からの一般質問には10人が登壇し、市政課題について議論を交わしました。

今定例会に提出された市長提議案25件について、全て原案のとおり可決しました。また、請願1件については不採択となりました。

今定例会では10人が一般

質問に登壇し、環境問題や選挙の総括等について話しました。令和3年10月29日に当市は2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す宣言を表明しました。この宣言を受け、温室効果ガス削減の取組や適切な森林管理、再生可能エネルギーの活用等に関する質問が集中しました。また、令和3年10月31日に投票が行われた衆議院議員総選挙を受けて、投票方法や投票環境の改善、学生や児童に対する主権者教育等についても集中的に議論が行われました。当市は海、山、

川に囲まれた自然環境を有しており、これらを未来の子どもたちにどのように引き継いでいくのが課題となっています。衆議院議員選挙の実施に伴い、指摘された課題として、高齢者や公共交通が脆弱な地域に住む方の投票所までの移動支援等が挙げられました。

定例会最終日には当局から追加議案の提出がされました。住民税非課税世帯等に対する特別給付金事業及び子育て世帯を支援するため、子ども1人当たり10万円を現金給付する臨時特別支援事業を盛り込んだ補正予算を可決しました。

川に囲まれた自然環境を有しており、これらを未来の子どもたちにどのように引き継いでいくのが課題となっています。衆議院議員選挙の実施に伴い、指摘された課題として、高齢者や公共交通が脆弱な地域に住む方の投票所までの移動支援等が挙げられました。

11月臨時会

11月臨時会は、11月22日の1日間の会期で開催されました。冒頭に市長から、「新型コロナウイルス感染症対策について」と「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」ことの表明について説明がありました。審議では、当局より議案第73号から議案第77号まで条例の一部改正についての提案が出されました。議案第74号と議案第77号ではコロナ禍や国の動向を考慮すべきとの質疑もありましたが、圧倒的多数で全て可決しました。

11月臨時会 討論要旨

議案第74号 ○反対討論

【否決すべき】

公務員の地位の特殊性、職務の公共性から労働基本権が制約されているなかで、コロナ禍の感染対策等市民の安全・安心を確保するため職員数削減の下にあっても日々職務に邁進し奮闘されている職員の一時金の減額には反対。

↓ 起立多数で可決

議案第77号 ○反対討論

【否決すべき】

議案第74号と同様に、長引くコロナ禍において、任期付きという不安定雇用でありながらも職員と同等に市民の安全・安心の確保に努めている。職員等含め賃金水準を下げればコロナ禍で疲弊している地域経済へも影響があると考え反対。

↓ 起立多数で可決

議 決 議 案

12 月定例会

議案番号	議案名	審議結果	
請願第 3 号	固定資産評価審査委員会に不動産鑑定士の任命を要求する請願書	不採択	少数
議 案	第 78 号 釜石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	多数
	第 79 号 釜石市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第 80 号 釜石市立集会所条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第 81 号 釜石市医療・福祉等従事者奨学資金貸付条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第 82 号 釜石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第 83 号 令和 3 年度釜石市一般会計補正予算 (第 5 号)	可決	全員
	第 84 号 令和 3 年度釜石市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決	全員
	第 85 号 令和 3 年度釜石市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決	全員
	第 86 号 令和 3 年度釜石市介護保険事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決	全員
	第 87 号 令和 3 年度釜石市公共下水道事業会計補正予算 (第 1 号)	可決	全員
	第 88 号 箱崎半島線道路災害復旧 (1 災 538 号鶴住居) 工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 89 号 いのちをつなぐ未来館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 90 号 鶴の郷交流館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 91 号 釜石魚河岸にぎわい館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 92 号 根浜海岸観光施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 93 号 釜石市民泊施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 94 号 釜石祈りのパークの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 95 号 釜石市球技場、釜石市民弓道場、多目的広場、釜石市民交流センター、釜石市営プール及び釜石市民体育館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 96 号 昭和園クラブハウス、釜石市中妻体育館、平田公園野球場及び平田公園クラブハウスの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 97 号 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 98 号 岩手県沿岸知的障害児施設組合の解散に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 99 号 岩手県沿岸知的障害児施設組合の解散に伴う財産処分に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 100 号 岩手県沿岸知的障害児施設組合規約の一部変更に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第 101 号 令和 3 年度釜石市一般会計補正予算 (第 6 号)	可決	全員

議案等の賛否 (○は賛成、×は反対。議長は参加いたしません。) 討論概要は 14 ページ

議員名 議案番号	古川	磯崎	三浦	川嶋	野田	深澤	高橋	遠藤	平野	千葉	佐々木聡	細田	山崎	水野	佐々木義	木村	菊池	賛成	反対
請願第 3 号	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	○	—	○	7	9
議案第 78 号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	15	1

11 月臨時会

議案番号	議案名	審議結果	
議 案	第 73 号 釜石市個人情報保護条例及び釜石市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	可決	全員
	第 74 号 釜石市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	多数
	第 75 号 釜石市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第 76 号 釜石市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第 77 号 釜石市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	多数

議案の賛否 (○は賛成、×は反対。議長は参加いたしません。) 討論概要は 2 ページ

議員名 議案番号	古川	磯崎	三浦	川嶋	野田	深澤	高橋	遠藤	平野	千葉	佐々木聡	細田	山崎	水野	佐々木義	木村	菊池	賛成	反対
議案第 74 号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	○	14	1
議案第 77 号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	○	14	1



佐々木 聡
(令和クラブ)

質問項目

- ・教育行政について
- ・釜石市公共施設白書について
- ・復興支援員について
- ・釜石市国民健康保険第2期データヘルス計画について

廃止が決まった公共施設跡地の活用は

住民要望や庁内意向を考え転用を検討

議員 市が管理する公共施設のうち20施設が廃止される。この廃止判断した公共施設の解体計画や解体後跡地の有効活用は。

総務企画部長 令和12年度までの10年間で解体を進める方針だ。令和3年度末までに、5施設が解体済又は解体予定となっており新庁舎建設後の現庁舎や用途廃止した旧小中学校校舎など残りの15施設についても、財政計画及び実施計画と連携し、財政状況や他事業との優先順位を調整したうえで順次解体を進める。また、解体後の跡地利用

については住民等の要望や庁内関係課の意向を考慮したうえで新たな用途への転用を検討するとともに、行政目的がなく使用見込みのない施設は、市事業の財源確保を目的に公募による売却を行うなど、有効活用を進める。

建設部長 公園の多様な利活用と衛生的な環境を維持していく上でその必要性は認識しているが他市の事例や活用状況等も参考としながら、財源の確保や地域の皆様との調整を踏まえて持続的な維持管理と利活用が図られるよう取り組む。

公園整備

議員 高齢者の運動、レクリエーション利用を考え

てバリアフリートイレの整備の必要性について当局の考えは。

肥満と運動習慣

議員 釜石市はメタボリックシンドローム判定が男女ともに全国、岩手県より

高い数字であり小中学生の体重も同様で太っている傾向が明らかだ。

肥満解消策となり得る運動習慣や健康維持に関する取組の状況は。

保健福祉部長 各地区生活

応援センターで運動教室やニュースポーツなどを開催し運動を継続できる場の確保と機会の提供に努めている。また幼少期から正しい食習慣を身につけることと

運動習慣の定着に取り組み肥満対策となる環境づくりに努める。さらに国民健康保険の特定健診において肥満のため保健指導の対象となった市民に市内スポーツクラブと連携した運動指導を実施している。



屋根が崩落し解体を待つ旧小川小学校

温暖化対策の課題と取組は

市民・事業者・行政で連携し取り組む

議員 温暖化対策は課題

が多いが、市としてどのよう

に取り組んでいくのか。

市長 市内の事業所や

関連団体で構成する検討会

の意見を取り入れ、市の現

状と方向性について、各主

体と連携し取り組む。

議員 今後、市民・事業

者参加について、どのよう

に取り組んでいくのか。

副市長 令和4年度は、

市民と事業者を対象とした

アンケート調査を行い、各

主体の環境や地球温暖化に

対する意識調査をし、新し

い環境基本計画に市民の声

を反映させていく。

議員 現在、市では温暖

化対策に関する条例・計画

の策定について、どのよう

に捉え、考えているのか。

副市長 条例については、

釜石市環境基本条例があ

り、新たな条例制定は考え

ていない。計画については、

釜石市環境基本条例第8条

の規定により、令和3、4

年度の2ヶ年で計画を策定

する。

議員 市内河川の流下能

力及び1時間、1日当たり

何mmの雨が降れば氾濫・決

壊する恐れがあるのか。

建設部長 甲子川の計

画流量は毎秒950m³、

鵜住居川は毎秒850

1000m³となっている。

現時点での流下能力は詳細

な調査を実施しないと把握

できない。

議員 甲子川は流下断面

が小さく、大雨の際は氾濫・

決壊の恐れがある。川沿い

には家屋や資産が集中して

おり、甚大な被害が予想さ

れるがどのように考えるか。

危機管理監 令和元年5

月に県から公表された最大

規模の浸水想定では、沿川

居住地のほぼすべてが浸水

する想定となっている。河

川が氾濫した場合、甚大な

被害が危惧されている。甲

子川の氾濫をできるだけ防

ぐ・減らすため「甲子川水

系流域治水協議会」を立ち

上げ、「甲子川水系流域治

水プロジェクト」を策定し、

8月に公表した。

議員 作成から約10年が

経過するが、国の考え方も

変化していく中で作成基準

について見直し、更新等検

討するべきでは。

危機管理監 今後岩手県

が公表する「津波浸水想定」

や岩手県が順次指定を進め

ている「土砂災害警戒区域」

等の水害情報を見極めなが



増水時の甲子川

- ・環境問題の課題と取り組みについて
- ・防災対策の課題と取り組みについて

質問項目

千葉 榮
(21世紀の会)



川 嶋 昭 司
(清和クラブ)

質 問 項 目

- ・温浴施設について
- ・日本海溝・千島海溝
周辺海溝型地震津波に
かかる避難について

市民の憩の場、温浴施設の実現を求む

市行財政の状況に鑑み、困難と考える

議員

温浴施設は当市の観光産業、経済の目玉として必要な施設。市内にないため市民は県内外へ向かっている。

潜在的な市民の要望が伺えるが。

市長

温浴施設立地に係る内外の情勢は厳しさを増しており、市民事業者が自らの資本によって立地計画する以外の新規立地に向けた取組については市の行財政状況を踏まえ慎重にならざる得ないと考えている。

産業振興部長

地域住民の健康増進に加え、交流人口の増加や水産事業の観点か

らも有効な施設と認識している。

民間活力を導入しての整備に向け事業者と協議を重ねてきたが実現に至らなかった。

要因として全国的に人口減少が進む中、一般公衆浴場をはじめ、ヘルスセンター、健康ランド等の利用者数が鈍るとともに廃業件数が増加し、結果として温浴施設の総数は減少傾向にある。地方の都市は一定のニーズがあっても商圏として厳しい状況で、事業の採算性の面でも難しい状況にあると考えている。

また民間主導の誘引につ

いても新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、あらゆる業種において感染対策の徹底が求められる中で温浴施設の新規立地は非常に難しいものと認識している。

議員

日本海溝、千島海溝周辺海溝型地震津波にかかる避難訓練の所見は。

市長

内閣府が昨年9月に公表した日本海溝、千島海溝沿いの巨大地震による最大クラスの津波浸水シミュレーションでは、中妻地区の一部が新たに浸水エリアになり当市では八雲神社

境内を新たに津波緊急避難場所として指定した。今回の避難訓練では高齢者や身体の不自由な方から遠すぎる、坂が急だった等の意見があった。これまで中妻地区地域会議では、地区内での三階建て以上の建物アパートの所有者に対し緊急避難先としての利用を了承し

ていただくなどの活動を継続的に行っている。中妻地区内の地域で比較的安全な施設等を近隣の安全な場所として自主的に設置することに対して、アドバイスを行うなどして引き続き地域と連携した対応についても努める。



八雲神社入口

「あたまの健康チェック」導入は

事例を十分に調査し検討したい

議員

認知症の前段階と

される軽度認知障害（MCI）の早期発見を目的とし

て、高齢者が自宅などから

電話で気軽に実施できる認

知機能テスト「あたまの健

康チェック」を導入してい

る自治体が見受けられる。

10分程度の簡易テストだ

が、委託先の民間会社が作

成、MCIの有無を97%の

精度で判別することができ

るとされている。認知症の

兆しの発見と予防活動が症

状の進行を遅らせるための

カギと言われているが、厚

年以内に認知症に移行する」としている。多くの自治体は、認知機能について学ぶ講座や、映像を活用した認知機能チェックを行い、認知症予防に関する機会を住民に提供してきている。しかし、コロナ禍によって対面による認知症予防活動の実施が困難な状況にあるが、当市の現況と認知機能テスト「あたまの健康チェック」についての所見を伺う。

保健福祉部長

令和2年3

月現在の要支援・要介護認定者数2749人のうち、認知症高齢者の日常生活自

立度調査で、生活に何らかの支障をきたす「日常生活自立度Ⅱ」以上の方が1529人で55・6%とな

っているなど、認知症の予防や早期発見は重要な課題として認識している。予防

の取組としては、予防教室と併せて、物忘れ相談会を

住民に身近な地区集会所で開催し、気軽に相談できる機会を提供している。内容

は、保健師による講話を30分程度行い、希望者にはパ

ソコンを利用した「物忘れチェック」を実施、初期症

状にみられる「物忘れ」をスクリーニングし、サロ

ン等、通いの場への参加を案内するなど認知症予防について支援していくものである。開催には各地区応援セ



いきいき100歳体操
いきいき鶴住居

ンターと協議のうえ、周知を図り、感染症予防のため参加予約制で実施している。「あたまの健康チェック」は、自宅に居ながら電話で気軽に簡易テストが受

けられることなどから、全国の自治体において導入事例がみられ、健康寿命の延伸に資するものとして評価を得ていると考えられる。導入実施は先行する自治体の事例を十分に調査し、関係機関との協議、予算の確保等、共通認識を図り整理し検討したい。

山崎 長 栄
(公明党)

質問項目

- ・防災行政について
- ・高齢者福祉について



磯崎 翔太
(創政会)

質問項目

- ・2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みについて
- ・図書館運営について
- ・子ども医療費の助成対象拡大等について

グリーンカーボンクレジット：森林保護や森林管理等の事業で温暖化ガスの排出削減効果を取引できるようにしたもの。カーボンオフセット：排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせること。

子ども医療費助成事業の拡充は

自己負担の無償化を図るべく検討中

議員 現時点での子ども医療費助成事業における無償化の対象は、就学前児童までに留まる。一步踏み込んだ形での助成を検討してはどうか。

く検討している。

環境問題

市長 子ども医療制度の充実、子育て世代の経済的支援に繋がるため関心が高い事業であり、当市でも重要な検討項目だ。これまでの拡充結果等を踏まえ、財政負担とのバランスを考えたながら、子ども医療費助成事業の対象としているすべての年齢帯について、従来の受給者の要件を撤廃、自己負担の無償化を図るべ

議員 当市の地理的特徴を踏まえれば、グリーンカーボンクレジットの活用は現実的だ。現在策定中の各計画における将来的な活用の可能性は。

副市長 釜石地方森林組合が現在活用している。関係団体と協議した上で、森林再生と二酸化炭素廃出量削減に繋げることを視野に入れて、「釜石市環境基本計画」や「地球温暖化対策実行計画」の施策として盛

り込みたい。

議員 適切な森林経営管理を実施する上で、森林経営管理制度をどのように反映させるのか。

産業振興部長 現在は令和2年度に実施した橋野和山区域と栗林区域の意向調査の結果を踏まえた「経営管理権集積計画」の策定に向けて作業を進めている。

今後、計画的な森林整備を進め、森林の公益的機能を高めながら適切管理とカーボン・オフセットなど二酸化炭素排出量削減に繋がる施策を展開する。

図書館運営

議員 公立図書館への指定管理者制度の導入について見解は。

営していることから、指定管理者制度の導入については慎重に検討する。

副市長 図書館事業は事業の継続性、公平性を維持することが重要だ。現在直営であることを活かし、読書推進等の図書館事業を運

議員 市立図書館にはエレベーターが未整備だ。階段設置型昇降機の導入を。

副市長 利用者が平等に利用しやすい施設にするため、助成制度の活用を視野に入れて設置を検討する。



釜石市立図書館

教員の職場課題や働き方改革の改善は

スクラップ&ビルドの推進を考えたい

議員 過労死ラインとい

われる月80時間を超える残業を行っている教員の状況は。

学校教育課長 今年度4月

から9月までの半年間で複数月80時間を超える残業をしている教職員は小学校4名・中学校8名となっており、月100時間超過は小学校で5名、中学校で6名となっている。その内、複数月で100時間を超えたのは小学校では0名、中学校では2名が2回という状況である。

議員 過労死ラインの月80時間を大きく上回る月

100時間超の方がいることは由々しき事態である。今後の対策は。

学校教育課長 現在、国の

基準を満たす配置がされており、加配措置や支援員の配置も行われているため、現状で学校を運営していかねばならないが、超過勤務により心身の健康に影響が出るようなことはあつてはならないと考えている。超過勤務の原因をしつかりと把握し、その改善に向けて確実に取り組むことができるよう管理職と連携を図り進めていく。

議員 プラスチック資源

循環促進法を考えたプラスチックの回収方法や3Rの取り組みなどの進捗状況は。

生活環境課長 市町村のプ

ラごみ分別収集においては、受け入れる施設がなければ収集運搬も始まらない。いかに市民に負担を掛けない形で分別収集ができるのかを考えながら、国が示す今後の基準や財政支援等と照らし合わせて検討したい。

議員 リサイクルへの意

識向上や収集量の削減などを考え、東海市や他自治体でも取り組んでいる「リサ

イクルステーション」を設置してはどうか。

生活環境課長 他自治体で

は、リサイクルステーションを設置してリサイクル率が向上していると聞いている。しかし設置するには用地選定・維持管理・持ち込む方法等の課題も多いことや全てのプラスチックごみ

を対象とするのかなど、さまざまな角度からの検討が必要である。当市はどこに設置するのか、設置した方がいいのかという事も含め、それに関わる市民の負担も関係してくるので、意見をいただきながら慎重に進めていかなければいけないと考えている。



東海市内に設置されている
リサイクルステーション

3R:リデュース(Reduce/減らす)、リユース(Reuse/繰り返し使う)、リサイクル(Recycle/再資源化する)という3つの言葉の頭文字を取り3Rと呼ぶ。

三 浦 一 泰
(清和クラブ)

質問項目

- ・温室効果ガス排出削減について
- ・教職員の働き方改革について



細田孝子
(公明党)

質問項目

- ・デジタル社会の構築について
- ・健康福祉行政について
- ・投票環境整備について

視覚検査機器導入と健診の在り方は

来年度導入し、4歳6ヶ月検査で実施

議員 視覚検査精度を向上させる小型屈折検査機器

の開発と成育基本法が追い風となり、3歳児健診における検査機器導入の機運が高まっている。国は機器購入費用の半額補助を検討しているようだが、その導入と健診の在り方を伺う。

保健福祉部長 検査機器を

導入することが、弱視の早期発見・早期治療に効果的であると認められるため、国の補助を活用し、来年度の導入に向けて検討している。また、健診については、当面、4歳6ヶ月発達検査での実施を考えている。

投票環境の整備

議員 感染予防対策として、鉛筆持参の呼びかけや

前回選挙の期日前投票所の混雑状況をホームページで紹介していたが、他自治体では、SNSを活用し、選挙に関する啓発やお知らせ、期日前投票所の混雑状況等をリアルタイムで発信し、市民から好評だったとのことである。当市でも検討しては。

総務課長 期日前投票

所となった大型商業施設では、投票開始直後に行列が

できる状況があった。コロナ対策もあるが、有権者の

利便性を考え、リアルタイムでの情報発信について、できるかどうかを検討し、実現に向けて対応したい。

議員 高齢者施設に入所

している方が、投票意思があるにもかかわらず、外出が難しく投票できなかった現状がある。コロナ禍だから見えた課題だと考えるが、当局の所見を伺う。

総務課長 投票所に来れ

ない方の投票機会として、選管が指定した病院等での不在者投票制度があるが、その対象者は重い障害のあ



衆院選開票の様子

る方に限定されている。移動支援もあるが、不在者投票の要件緩和で対応できないか、国や県に要望し、投票率の向上に努めたい。

議員 高齢化が進み、投票所が遠いとの声が多い。

移動期日前投票所については、山間部を検討していきたいとのことだが、市内全

域を対象とした検討も必要ではないのか。

総務課長 移動期日前投票

所について、人口減の傾向を見ると投票所の集約も考えなければならぬ時期に来ている。もろもろ周辺の環境の要因を分析しつつ、適正な投票環境整備に努めたい。

ヤングケアラー支援の取組状況は

福祉、介護、医療、教育等連携で対応

議員

ヤングケアラーに

ついて、最近やっと全国的に実態が明らかになりつつある。それでも中々その実態を把握するのは難しい。

小中高生自身もケアラーであることに気づいていない状況で、厚生労働省、文部科学省も支援策を検討中だが当市の取組状況を伺う。

市長

ヤングケアラーで

ある子どもの早期発見の為に、福祉、介護、医療、教育等の関係機関が連携し早期に発見して適切な支援につなげるための取組を推進し、教育現場においては厚生労働省より例示されたア

セスメントシートを継続し

て活用し、ヤングケアラーの可能性があつた場合は、教育委員会へ報告をする。

毎月、小中学校から教育委員会へ報告があり、各学校

やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと情報収集に努め、必要

に応じて関係機関と協議対応がされている。また、介護、福祉関係への周知にも

取り組む。さらにはケアマネージャーと地域包括支援

センターが連携し情報収集の上、子ども課へ連絡する

連携体制を構築している。子どもの見守りを行う関係

機関、要保護児童対策地域協議会、主任児童委員研修

会等においてヤングケアラーの定義、支援の必要性な

どの周知に努めている。

議員

埼玉県で実施され

た公立中学校、公立高校全日制を対象としたアンケート調査による把握の仕方が

一番良いのではと考えるが、当市はアンケート調査

をする考えはないか。

保健福祉部長

ヤングケア

ラーは、家庭内のデリケートな問題であることから表面化しにくい構造となっており、実態把握は非常に難しい状況にある。そのため

アンケートにより把握することは有効な手段の一つであるとして認識しているが、現在実施している方法で深刻な状況の有無は把握できていると考える。

議員

ヤングケアラーへの

支援、相談窓口開設は。

保健福祉部長

ヤングケア

化や核家族化の進展、共働き世帯の増加、障がい、疾病、家庭の経済状況変化といった様々な要因があるとされている。ヤングケアラー特化ではなく、様々な窓口での相談が子どもという視点で子ども課へ集約されるよう連携を図っていく。



保健福祉センター内子ども課
(ヤングケアラー相談窓口)

古川 愛明
(創政会)

質問項目

- ・保健福祉行政について
- ・市民生活行政について
- ・総務行政について
- ・危機管理行政について



深澤 秋子

質問項目

- ・選挙について
- ・医療行政について
- ・国保税について

巡回移動投票所導入の検討が必要

移動支援の構築を考え投票環境を検討

議員 高齢化率40%の当

市の投票率は、高齢者が支えている現状にある。しかし投票所まで距離がある、一人では行けない、郵便投票には制約がある等の声にどのような移動支援をしているのか。

選管委員長 現状では、

投票所までの移動支援を行う体制やノウハウは整っていない。

障がいや高齢が理由で投票所までの移動困難な方々に対する移動支援体制の構築を考えながら、郵便投票や不在者投票の要件緩和を国や県に働きかけていく。

議員 投票立会人の高齢

化や過疎化等で立会人の確保困難もあり、巡回投票所の導入検討が必要と思うが。

選管委員長 各年代の有

権者にも投票立会人を依頼できるような努めていく。巡回投票所設置検討は、投票機会の確保策として、有権者の投票しやすい環境は何か見聞きしながら引き続き検討していく。

国民健康保険税

議員

県内統一税率に向けて、国保の歳入不足を税率改正により、令和4年度

より増税し解消しようとしているが、累積滞納もある。

長引くコロナ禍のもと厳しい暮らしで納税者に負担が重くのしかかっている。どう認識するか。

総務企画部長

所得割の軽減制度や均等割と平等割を、所得の状況に応じて減額する軽減措置も講じている。

しかし納期限内、年度内の納税が困難な世帯もある。納税相談においては、丁寧な対応に心がけ、生活困窮など個別、具体的な実情を把握し適正に対応している。

議員

令和4年度からは未就学児を対象とした均等割が5割軽減される法改正となるが、18歳までの子どもを対象とする均等割免除について、これまでも求めてきたが。

副市長

18歳までの子どもの均等割免除の財源確保をするためには、他の国保

被保険者の税負担につながる。

また、一般会計からの法定外繰入をした場合、マイナスポイントで評価され、交付金の配分額が減額されることになる。



釜石市第5投票区投票所



高橋 松 一

質問項目

- ・釜石市のまちづくりについて
- ・行政の継続性と見直しの分岐と住民開示について
- ・少子・高齢化・人口減少等社会問題対策解決のための隣接地域との連携について
- ・一部財政対策で市民負担増が懸念されているが対応について

議員 震災に一区切りがつき、今年度から第六次総合計画がスタートしたが市長が最も心にかけていることは。

市長 ハード整備は概ね完了したが、この10年で大きく変わったことが3つある。一つ目は、全国的に豪雨・土砂災害が激甚化しており、今後も起こりうる災害へ対策を講じていく必要があること。二つ目は、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルにおける避難行動を検討すること。三つ目は新型コロナウイルスの感染拡大によって私たち

の生活様式が大きく変化してきたことに加え、新たに発生する危機に対し、柔軟かつしなやかな対応が求められていることである。

議員 副市長がある懇談会で「釜石のまちづくり」と題して、可住地域が極端に狭い当市の特徴を踏まえながら、他の自治体と比較して、コンパクトシティ（案）を述べていた。この案は国でも進めていると聞

くが、釜石版のこの案について当局の考えは。

建設部長 当市の特徴は地形的に可住地が少ないため元々一定の地域ごとにコンパクトな市街地が形成されている。震災復興事業で新しい市街地が形成された地域、古くからの町並みを残した地域など、地域によって様々な歴史や文化があり、当市のまちづくりにおいてそれぞれ欠かせない役割を担っている。市民が望むまちづくりの視点として、地域の特徴を生かしつつ、高齢者でも出歩きやすく、健康・快適な生活を確保すること、子育て世代などの若年層にも魅力的なまちにすることなどが求められている。コンパクトなまちづくりの方向性としては

釜石版コンパクトシティは

地域の特徴を生かした魅力的なまち

中心市街地の活性化を図りつつ周辺集落とのネットワークを形成し、より効率的な行政運営と市民サービス向上に努める必要があると認識している。

議員 当市では国の方針をどのように受け止め、行政執行に受け入れたのか。

総務企画部長 震災後の復興まちづくりという大きな目標の中では、震災に遭った21地区をまた住めるようにとの考え方でやってきて、地域への愛着、郷土愛を優先して、その際には国のコンパクトプランも承知して議論を並行してきていたと認識している。



東部地区のまちづくり

議案審議

衛生費

問 三回目の接種が予定されているが、その概要について伺う。

答 詳しくは広報で伝えるが、一度も接種されていない方や、三回目の方の接種を行う。医療関係者から始め、高齢者は2月中旬となる。個別接種はファイザー社製で、集団接種はモデルナ社製のワクチンとなる。選択はできないが、健康に不安のある方については個別に相談を受ける。

教育費

問 芸術文化事業、ビーチボール、トライアスロン、仙人峠マラソン、サッカーなどが減額補正された理由は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大で主催者が中止と判断したため。

問 中止によって失われた経済波及効果はどの程度を見込んでいるか。

答 日本イベント産業振興協会のレポートに当てはめて試算すると2700万円と見込む。

指定管理

問 前回と今回も同じ指定管理者のようだが、競合相手はあったか。

答 結果的に競合業者はなかった。

問 交流館等を管理する指定管理者が事業等を実施する際の権限は。

答 大局的には、施設管理は任せている。不明な点、課題等あれば申し出を頂いているほか、空店舗解消についても協力いただいている。

釜石市議会だよりでは、表紙に掲載する写真を募集しております。

市内の風景・イベントなど募集しております。
 どんどんご応募ください。
 応募要項と詳細は→

★応募先

gikaijimu#city.kamaishi.iwate.jp
 (#を@に)



問 利用者の満足度や、管理運営に適切かを確認するため、指定管理者、担当課はモニタリングを行うことになっているが、アンケート調査からの課題は。

答 指定管理を導入している施設全体として、それぞれの施設に対して、それぞれの施設に対して多くの意見が寄せられている。課題は、施設の老朽化や大きさ、設備や備品の充実など、施設利用に対する不満の改善といった点である。

12月定例会討議要旨

議案第78号 釜石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○反対討論【否決すべき】

国保税を年々引き上げる原因に、国庫負担の削減がある。国保加入者の構成からみても税収が上がるのは当然で、長引くコロナ禍、税率の改正より国庫負担の増額を求めていくべきと考え反対。
 ↓ 起立多数で可決

委員会等活動報告

総務常任委員会

令和3年11月12日に盛岡市財政部を視察調査しました。

視察調査の目的は、請願第3号「固定資産評価審査委員会に不動産鑑定士の任命を要求する請願書」の審査に係る情報を収集することであり、同委員会に不動産鑑定士を任命している県内唯一の市が盛岡市であるためです。

盛岡市では、委員の退職に際して、同業種からの委員の重複選任を避けることと、他の都市では弁護士、土地家屋調査士、不動産鑑定士等の選任も多いため、各種団体から委員の推薦を受けて選任しているとのこと。ただし、必ずしも不動産鑑定士を任命すべきものではなく、委員として関わる職種や経験値こそ重要ではないかとの見解も示されました。また、税金の賦課業務における諸般の課題についても併せて議論する必要があるとの意見も出されました。

民生常任委員会

令和3年10月25日、釜石市芸術文化協会との意見交換会を行いました。

同協会からは、会長を含め3名が出席され、事業及び活動内容について説明を受けました。質疑や意見交換等を進める中で、同協会が抱える課題として、加盟団体の減少と会員の高齢化、若年層の加入促進などが挙げられました。

対策として、釜石市民芸術文化祭に学校の協力を得て、子供たちの作品の出品依頼をしたり、メイン会場での発表や展示をYouTube生配信するなど、幅広い世代に向けた周知活動にも取組まれています。

また、会員や市民の作品発表の場として、ミニ美術館の設置を検討しているなど、意欲的な活動をされていることを知る機会になり、多くの課題を共有することができました。

議会改革特別委員会

令和3年11月16日に議会改革特別委員会を開催しました。主な協議内容は、

- ・青年会議所との意見交換会の報告
- ・市民の声を聞く会（仮称）について

・議会基本条例の意識共有などで、市民の声を聞く会の運営やこの会を通じた議員定数の方向性について議論が交わされました。

議員全員協議会

令和3年11月22日に令和4年度国民健康保険税の税率改正について協議を行いました。国民健康保険税水準の県内統一に向けて、釜石市では令和2年度に税率改正を行いました。なおも不足する歳入を令和4年度、6年度に分け税率改正を行います。

令和4年度の改正では国保税不足額の二分の一度の増額を見込んでいます。

議会の動き

陳情

■令和4年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願 **報告**
※本会議において報告し、出席した議員、職員に陳情の要旨を記載した文書表を配布しました。

■私学教育を充実・発展させるための陳情 **報告**
※本会議において報告し、出席した議員、職員に陳情の要旨を記載した文書表を配布しました。

12 総務常任委員会
視（盛岡市）

16 議会改革特別委員会
22 11月臨時会

・議会運営委員会
・議員全員協議会

24 議会改革特別委員会理事会
25 会派代表者協議会

26 総務常任委員会
協（請願審査について）

29 議会運営委員会

12月
3 議会運営委員会

6 12月定例会（～17日）

8 会派代表者協議会

14 民生常任委員会
15 総務常任委員会

・経済常任委員会
16 議会運営委員会

・総務常任委員会
17 議会常任委員会

20 議会代表者協議会
21 議会代表者協議会

22 議会改革特別委員会理事会
1月

6 議会代表者協議会
11 議会代表者協議会

・議会改革特別委員会理事会
13 議会運営委員会

・議会代表者協議会
協Ⅱ協議事項 視Ⅱ視察研修

釜石市議会では、本会議等のインターネットライブ及び録画配信を行っております。

釜石市議会 YouTube（ユーチューブ）チャンネル

検索

釜石市議会 youtube

スマートフォンの方はこちら→





議長 木村 琳藏

新年を迎え、市議会を代表して市民の皆様にご挨拶を申し上げます。
 昨年、新型コロナウイルスの大きな影響を受け続けた一年となりました。一日も早い終息を願うところです。
 本年三月で東日本大震災から十一年を迎えます。復興事業の完了が近づいています。引き続き被災された皆様の心に寄り添いながら復興の完遂を目指すとともに、近年多発する自然災害への備えや少子高齢化、産業振興など市政課題の克服に取り組んでいく必要があります。
 市議会といたしましては、開かれた議会を目指し議会改革を進めるとともに、市勢振興に向け議員一丸となって取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

21 世紀の会



佐々木義昭 水野昭利 木村琳藏 野田忠幸 千葉 榮

議員は、選挙区内に住んでいる方に対し、答礼のため自筆によるものを除き、年賀状などのあいさつ状を出すことは、法律で禁止されています。
 市民の皆様のご理解をお願いします。

公明党



細田孝子 山崎長宗

清和クラブ



三浦一泰 平野弘之 川嶋昭司 遠藤幸徳

会派に所属していない議員



高橋松一 深澤秋子

令和クラブ



佐々木聡 菊池秀明

創政会



古川愛明 磯崎翔太



▼コロナ禍で慌ただしい一年でした。オリンピック、パラリンピックは新型コロナウイルスによりほぼ無観客での開催でしたが、その後には国内の感染者が激減。ようやく一息つけるかと思えば、今度はオミクロン株が。経済が立ち直るいとまも与えてくれません。▼
 医療に従事される方々にはただただ頭の下がる想いです。私達は感染に注意するしかできませんが、せめて新年は虎の威を借りてウイルスと対峙できないでしょうか。(野田 記)

委員長 佐々木 聡
 副委員長 野田 忠幸
 委員 川嶋 昭司

細田 孝子
 磯崎 翔太
 深澤 秋子